



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 トランス・コスモス株式会社

コード番号 9715 URL <http://www.trans-cosmos.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 奥田 昌孝

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員CFO (氏名) 本田 仁志

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

TEL 03-4363-1111

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	39,527	3.5	1,223	△34.6	1,279	△32.9	1,228	△8.7
24年3月期第1四半期	38,184	2.9	1,871	70.7	1,907	51.3	1,345	77.3

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 1,137百万円 (△32.1%) 24年3月期第1四半期 1,676百万円 (61.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	29.85	—
24年3月期第1四半期	32.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	91,013	48,472	49.3	1,090.19
24年3月期	93,137	48,819	48.7	1,101.41

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 44,855百万円 24年3月期 45,316百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	37.00	37.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年3月期の配当予想は未定であります。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

当期の連結業績予想につきましては、合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、当該理由等は、【添付資料】P.3「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」に記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。
詳細は、【添付資料】P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	48,794,046 株	24年3月期	48,794,046 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	7,649,875 株	24年3月期	7,649,709 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	41,144,178 株	24年3月期1Q	41,145,381 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、欧州債務問題、中国経済の減速など外部環境に不透明さは残るものの、復興関連需要を背景に公共投資や企業の設備投資などが増加傾向にあるなど内需を中心に緩やかに持ち直しつつあります。

当社グループを取り巻く事業環境は、情報サービス市場では、IT基盤、業務ソフトウェアの刷新・標準化といったニーズが増加するなど企業のIT投資マインドが改善してきております。また、企業のグローバル展開や国際競争力の強化、コスト適正化といった目的からBPO（ビジネスプロセスアウトソーシング）の需要が引き続き拡大してきております。デジタルマーケティング市場は、ダイレクトセールス、スマートフォン、ソーシャルメディアといった新たな需要を背景に引き続き拡大しております。

このような状況の下、当社グループは、一部大型スポット案件の終了や、新卒採用の拡大、新規事業開発の体制強化、新規受注業務の立上げといった先行投資などによる収益への影響はあったものの、新たな需要を見据えた将来戦略に向けて経営・事業基盤の強化に取り組みました。

具体的には、組織機構において、平成24年度よりグローバル営業統括部、ECサービス本部をそれぞれ新設し組織体制の強化を図りました。また、サービス面では、急速な拡大を続けるスマートフォンにおいて、広告効果を一元管理、解析が可能なスマートフォン広告効果測定ツール「transcosmos SmartPhone Ad tracking」（TSPAD）の提供を開始しました。

以上の取り組みの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高39,527百万円となり前年同期比3.5%の増収となりました。利益につきましては、大型スポット案件の終了など売上総利益率の低下により、営業利益は1,223百万円となり前年同期比34.6%の減益、経常利益は1,279百万円となり前年同期比32.9%の減益、四半期純利益は1,228百万円となり前年同期比8.7%の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

（単体サービス）

当社におけるアウトソーシングサービス事業等につきましては、売上高は32,334百万円と前年同期比3.5%の増収となりました。また、大型スポット案件の終了や新規受注に伴う先行投資などにより、セグメント利益は837百万円と前年同期比50.7%の減益となりました。

（B to B国内子会社）

B to B国内子会社につきましては、デジタルマーケティング子会社における受注の拡大やコスト削減効果などにより、売上高は5,295百万円と前年同期比1.0%の増収となり、セグメント利益は252百万円と前年同期比234.5%の増益となりました。

（B to B海外子会社）

B to B海外子会社につきましては、韓国におけるコールセンターサービスの受注が好調に推移し、売上高は3,955百万円と前年同期比13.9%の増収となり、セグメント利益は149百万円と前年同期比530.4%の増益となりました。

（B to C子会社）

B to C子会社につきましては、一部の受託開発案件の延期の影響などにより、売上高は474百万円と前年同期比38.4%の減収となり、セグメント損失は33百万円（前年同期はセグメント利益22百万円）となりました。

なお、セグメント損益につきましては、四半期連結損益計算書における営業利益をベースにしております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて2,123百万円減少し、91,013百万円となりました。このうち流動資産につきましては、972百万円減少し、65,723百万円となりました。これは、売掛金の減少や当社における欠損金に係る繰延税金資産が減少したことなどによるものです。固定資産につきましては、1,151百万円減少し、25,289百万円となりました。これは投資有価証券の上場株式時価評価による減少や関係会社株式の一部売却による減少などであります。

また、負債の部につきましては、前連結会計年度末に比べて1,777百万円減少し、42,540百万円となりました。これは主に借入金の返済による減少であります。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末に比べて346百万円減少し、48,472百万円となり、自己資本比率は、49.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期については、お客様企業の売上拡大・コスト削減といったニーズに対し、より適合したサービスの創出に注力するとともに、中国、韓国をはじめとしたアジア市場での事業展開を加速させ、前期実績を上回る業績を確保することを目指します。

なお、当社グループの事業は、あらゆる業種・業界のお客様との取引で成り立っており、変化の激しい経済環境の中、短期的な視点で企業活動の動向を見極めることは大変困難であります。よって、当社グループの平成25年3月期連結業績予想については、合理的な算定ができないため記載しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月 31 日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 6 月 30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,585	36,819
受取手形及び売掛金	24,571	23,622
商品及び製品	11	18
仕掛品	520	573
貯蔵品	22	24
繰延税金資産	3,429	2,884
その他	1,926	2,161
貸倒引当金	△372	△382
流動資産合計	66,696	65,723
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,412	3,399
工具、器具及び備品（純額）	2,176	2,162
土地	1,140	1,146
その他（純額）	296	276
有形固定資産合計	7,025	6,984
無形固定資産		
のれん	244	229
ソフトウェア	1,164	1,153
その他	328	344
無形固定資産合計	1,737	1,726
投資その他の資産		
投資有価証券	5,050	4,066
関係会社株式	3,386	3,021
その他の関係会社有価証券	76	77
関係会社出資金	671	718
繰延税金資産	144	421
差入保証金	4,510	4,621
その他	4,141	3,945
貸倒引当金	△303	△294
投資その他の資産合計	17,679	16,578
固定資産合計	26,441	25,289
資産合計	93,137	91,013

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 6 月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,840	4,300
短期借入金	695	480
1年内償還予定の社債	1,070	1,070
1年内返済予定の長期借入金	9,059	8,606
未払金	2,868	2,646
未払費用	6,688	6,957
未払法人税等	852	644
未払消費税等	1,779	1,556
賞与引当金	3,232	4,496
その他	1,758	2,095
流動負債合計	32,845	32,855
固定負債		
社債	590	590
長期借入金	7,891	6,126
退職給付引当金	147	147
訴訟損失引当金	2,555	2,555
その他	288	265
固定負債合計	11,473	9,685
負債合計	44,318	42,540
純資産の部		
株主資本		
資本金	29,065	29,065
資本剰余金	20,510	20,510
利益剰余金	13,900	13,606
自己株式	△15,923	△15,923
株主資本合計	47,553	47,259
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	688	19
為替換算調整勘定	△2,924	△2,423
その他の包括利益累計額合計	△2,236	△2,404
少数株主持分	3,502	3,617
純資産合計	48,819	48,472
負債純資産合計	93,137	91,013

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30 日)
売上高	38,184	39,527
売上原価	31,185	32,959
売上総利益	6,998	6,567
販売費及び一般管理費	5,127	5,344
営業利益	1,871	1,223
営業外収益		
受取利息	13	14
受取配当金	22	22
持分法による投資利益	77	90
デリバティブ評価益	77	74
その他	111	108
営業外収益合計	302	311
営業外費用		
支払利息	118	71
為替差損	132	174
その他	15	8
営業外費用合計	265	255
経常利益	1,907	1,279
特別利益		
関係会社株式売却益	—	1,078
企業立地助成金等	35	34
その他	16	1
特別利益合計	51	1,114
特別損失		
固定資産除却損	6	5
減損損失	20	7
持分変動損失	—	8
その他	74	3
特別損失合計	101	25
税金等調整前四半期純利益	1,858	2,369
法人税、住民税及び事業税	76	488
法人税等調整額	430	601
法人税等合計	506	1,090
少数株主損益調整前四半期純利益	1,351	1,278
少数株主利益	5	50
四半期純利益	1,345	1,228

四半期連結包括利益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,351	1,278
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△666
為替換算調整勘定	246	416
持分法適用会社に対する持分相当額	76	109
その他の包括利益合計	325	△140
四半期包括利益	1,676	1,137
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,621	1,060
少数株主に係る四半期包括利益	55	76

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	単体 サービス	B to B 国内子会社	B to B 海外子会社	B to C 子会社	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	31,168	2,901	3,345	768	38,184	—	38,184
セグメント間の内部 売上高または振替高	61	2,339	126	0	2,527	△2,527	—
計	31,229	5,241	3,471	769	40,711	△2,527	38,184
セグメント利益	1,698	75	23	22	1,820	51	1,871

(注) 1 セグメント利益の調整額51百万円は、セグメント間取引消去20百万円、のれんの償却額30百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	単体 サービス	B to B 国内子会社	B to B 海外子会社	B to C 子会社	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	32,293	2,933	3,827	473	39,527	—	39,527
セグメント間の内部 売上高または振替高	40	2,362	127	0	2,531	△2,531	—
計	32,334	5,295	3,955	474	42,059	△2,531	39,527
セグメント利益 または損失(△)	837	252	149	△33	1,206	17	1,223

(注) 1 セグメント利益または損失(△)の調整額17百万円は、セグメント間取引消去5百万円、のれんの償却額11百万円であります。

2 セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

該当事項はありません。